

柏キャンパスへようこそ





知の冒険をめざして

柏キャンパスは、東京大学の21世紀における新たな学問の発展に向けた構想に基づいて建設された、本郷、駒場に次ぐ第3の主要キャンパスです。

東京大学は、明治10年(1877年)以来伝統的学問分野を深く極めてきた本郷キャンパスと、昭和24年(1949年)以来複数の学問分野の接点において新たな学際的領域を開拓してきた駒場キャンパスを両極として発展してきましたが、平成12年(2000年)に学問体系の根本的な組み換えをも視野に入れた学融合を志向する柏キャンパスが加わりました。柏キャンパスではこのような「知の冒険」を目指して様々な新しい取り組みが行われています。

大学院新領域創成科学研究科では「基盤科学系」「生命科学系」「環境学系」の3つの分野を中心に、新しい学問領域の創成を目指しています。物性研究所ではエレクトロニクスを始めとして現代の多様な産業を支える様々な物質を根源から解明し、新しい物質の創成を目指しています。宇宙線研究所では宇宙線の研究を通して宇宙や物質の起源に迫ろうとしています。大気海洋研究所では海洋と大気の基礎的研究を推進するとともに、地球表層圏に関する科学の深化を通じた社会貢献を目指しています。国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構では数学と物理学、天文学の連携により宇宙の根本的な謎の解明に挑んでいます。さらに人工物工学研究センター、空間情報科学研究センター、環境安全研究センター柏支所、情報基盤センター、高齢社会総合研究機構、生産技術研究所附属千葉実験所、柏図書館などが活動しています。

東京大学は新しい学問分野の創出を果敢に進めていくことによって、世界の学問をリードしていくことを目指しています。この中で、柏キャンパスは重要な役割を担うべく、また国際キャンパスとしての施設も充実させつつ飛躍的な発展を続けています。

■東京大学の概要

創立：明治10年4月(法理文・医)/総長：五神真/教育研究組織：10学部、15研究科、11研究所、14全学センター/キャンパス：本郷地区(東京都文京区)559,176m²

駒場地区(東京都目黒区)：352,180m² 柏地区(千葉県柏市)：425,846m² 総面積：326,023,472m²(98%を演習林等が占める)

■柏キャンパスの経営

柏キャンパスの各部局に共通する学術経営に関する事項を審議、決定する組織として柏キャンパス共同学術経営委員会が設置されています。

【任務】

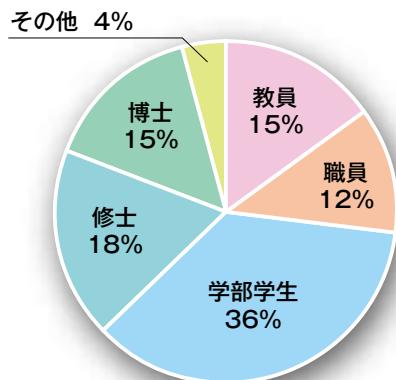
- (1) 柏キャンパスに所在する部局から委員会に委託された事項
- (2) その他、部局に共通する学術経営に関し必要な事項

■柏キャンパスを構成する人々

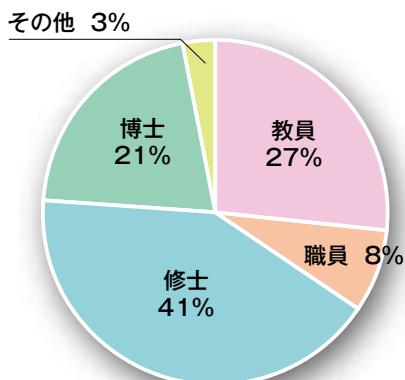
区分	教職員数(人)												大学院学生・研究生数(人)								
	教員・研究員			技術職員			事務職員			計			修士		博士		研究生		計		
	教員	特定有期	(特定)短時間勤務	職員	特定有期	(特定)短時間勤務	職員	特定有期	(特定)短時間勤務	教職員	特定有期	(特定)短時間勤務	新領域学生数(外数)	新領域学生数(外数)	新領域研究生数(外数)	新領域学生数(外数)	新領域学生数(外数)	新領域学生数(外数)			
新領域創成科学研究科	190	72	43	0	0	33	23	18	141	213	90	217	520	960		454	65	1,479	0		
宇宙線研究所	42	25	2	9	0	24	9	8	20	60	33	46	139	34	0	37	0	0	71	0	
物性研究所	79	64	6	31	0	13	12	7	45	122	71	64	257	45	43	29	19	6	3	80	65
大気海洋研究所	58	52	6	14	0	36	19	9	44	91	61	86	238	57	33	33	27	2	1	92	61
人工物工学研究センター	5	3	2	0	0	1	0	1	6	5	4	9	18	25	0	18	0	1	0	44	0
空間情報科学研究センター	13	17	7	0	0	5	0	2	9	13	19	21	53	11	25	13	9	0	8	24	42
国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構	22	75	1	0	0	3	14	9	10	36	84	14	134							0	0
環境安全研究センター柏支所	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	3							0	0
情報基盤センター	2	0	0	2	0	0	0	1	0	4	1	0	5							0	0
高齢社会総合研究機構	0	4	0	0	0	0	0	0	3	0	4	3	7							0	0
フューチャーセンター推進機構	0	0	9	0	0	1	0	1	4	0	1	14	15							0	0
東京大学文書館柏分館	0	2	0	0	0	2	1	0	0	1	2	2	5							0	0
生産技術研究所附属千葉実験所	5	8	0	1	0	2	2	0	5	8	8	7	23	14	2	8	1	1	0	23	3
柏保健センター	0	0	0	2	0	1	1	0	0	3	0	1	4							0	0
柏図書館	0	0	0	0	0	0	5	0	1	5	0	1	6							0	0
国際化教育支援室柏支部	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	1	3							0	0
柏地区研究センター支援室	0	0	0	0	0	0	3	0	4	3	0	4	7							0	0
柏地区共通事務センター	0	0	0	0	0	8	28	0	22	28	0	30	58							0	0
合 計	418	322	76	59	0	129	117	58	316	594	380	521	1,495	1,146		592		75		1,813	

(注)教職員数、大学院学生・研究生数は平成30年5月1日現在の現員。

■東京大学の構成員(39,055名)



■柏キャンパスの構成員(2,787名)



(注1)平成30年5月1日現在の現員。(特定)短時間勤務有期雇用教職員(521人)は含まれていません。

(注2)「その他」は、専門職学位、研究生。

柏キャンパスを構成する大学院・研究所・センター



新領域創成科学研究科・基盤棟



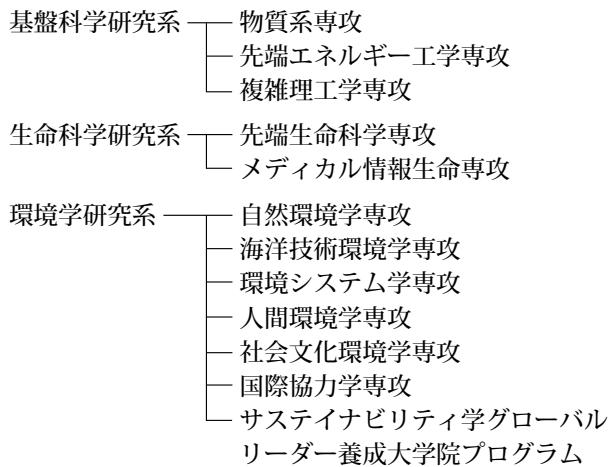
新領域創成科学研究科・生命棟



新領域創成科学研究科・環境棟

■大学院新領域創成科学研究科

「基盤科学系」、「生命科学系」、「環境学系」の3つの分野を中心に、新しい学問領域の創成を目指しています。



- 附属生涯スポーツ健康科学研究センター(柏II)
- 附属生命データサイエンスセンター
- 附属革新複合材学術研究センター

■宇宙線研究所(共同利用・共同研究拠点)

宇宙線の研究を通して宇宙や物質の起源に迫ろうとしています。

研究部門

宇宙ニュートリノ研究部門、高エネルギー宇宙線研究部門、宇宙基礎物理学研究部門

附属研究施設

- 神岡宇宙素粒子研究施設(岐阜県飛騨市神岡町)
- 重力波観測研究施設(岐阜県飛騨市神岡町)
- 宇宙ニュートリノ観測情報融合センター
- 乗鞍観測所(岐阜県高山市)
- 明野観測所(山梨県北杜市)



宇宙線研究所



物性研究所



大気海洋研究所

■物性研究所(共同利用・共同研究拠点)

エレクトロニクスを始めとして現代のエネルギー・材料分野などの産業を支える様々な物質の性質を根源から解明し、新しい物質・システムの創成を目指しています。

研究部門

凝縮系物性研究部門、物性理論研究部門、ナノスケール物性研究部門、機能物性研究グループ、量子物質研究グループ

附属研究施設

- 物質設計評価施設
- 中性子科学研究施設
- 国際超強磁場科学研究施設
- 計算物質科学研究センター
- 極限コヒーレント光科学研究センター

■大気海洋研究所(共同利用・共同研究拠点)

地球表層の環境・気候変動、生命の進化に重要な役割を有する海洋と大気の基礎的研究を推進し、人類と生命圏の存続にとって重要な課題の解決につながる科学的知見を創出します。

研究系

気候システム研究系 ————— 気候モデリング研究部門
————— 気候変動現象研究部門

海洋地球システム研究系 ————— 海洋物理学部門
————— 海洋化学部門
————— 海洋底科学部門

海洋生命システム研究系 ————— 海洋生態系動態部門
————— 海洋生命科学部門
————— 海洋生物資源部門

海洋学際研究領域

附属研究施設

- 国際沿岸海洋研究センター
- 国際連携研究センター
- 地球表層圈変動研究センター
- 高解像度環境解析研究センター



総合研究棟



第2総合研究棟



国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構

■人工物工学研究センター

人間、人工物、社会のよりよい関係と人工物の新たな価値創成を目指した研究を行っています。人工物と人の相互作用を研究するHuman-Artifactology 研究部門と、社会と人工物のかかわりについて研究するSocio-Artifactology 研究部門により、個別の学問領域にとらわれない、横断型の学問体系の構築およびそれに基づく問題解決を目指しています。

■空間情報科学研究センター（共同利用・共同研究拠点）

実世界に関するさまざまな情報を位置や場所に結びつけて把握、解析し、多くの学術領域、応用領域や産業の発展を支援すると同時に、新しい学術研究を開拓しています。また全国の研究者に研究用空間データを提供し、共同研究を推進しています。

■環境安全研究センター柏支所

周辺の環境と調和のとれたキャンパスを目指し、柏キャンパスにおいて発生する有害廃棄物の管理を行うとともに、環境安全に関する研究・教育を行っています。

■情報基盤センター（共同利用・共同研究拠点）

学内外におよそ2,000人の利用者を有する国内最大級のスーパーコンピュータセンターであり、2つの大規模スーパーコンピュータシステムの運用・利用支援を行っています。スーパーコンピュータを利用した大規模シミュレーション手法に関連した研究、教育を実施するとともに、今後のスーパーコンピュータに向けた研究開発も行っています。

■国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構

世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラム(WPI)に選定され発足しました。現代基礎科学の最重要課題である暗黒エネルギー、暗黒物質、統一理論(超弦理論や量子重力)等の研究を数学、物理学、天文学の連携により進め、宇宙の起源と進化の解明を目指す融合型研究拠点です。

■生産技術研究所附属千葉実験所

生産技術研究所(以下、生研)は、工学のほぼ全ての領域を対象とした日本最大級の大学附置研究所です。その附属施設である千葉実験所では、主に都内の駒場IIキャンパスでは実施が困難な大型設備や広いフィールドを使用する実験研究を行っています。2017年4月に生研発祥の地である千葉市稻毛区から柏キャンパスに機能移転しました。



生産技術研究所附属千葉実験所研究実験棟I



柏図書館



柏の葉キャンパス駅前サテライト



柏IIキャンパス

■高齢社会総合研究機構

個人のエイジング(加齢)や人口の高齢化に関する知見や技術を「ジェロントロジー」という知識体系に集約・構造化するとともに、新たに創成すること、それにより産み出される新しい価値を社会に還元し、高齢社会の諸課題を学際的に解決することを目的とした研究組織です。

■フューチャーセンター推進機構

柏地域の住民、企業と協力した社会実験により、本学の研究成果の事業化を進めています。柏の葉キャンパス駅前サテライトを学内外組織が同居する施設として活用しています。

■国際化教育支援室柏支部

留学生や外国人研究者の来日手続きに関する相談受付や生活情報の提供、語学教室や文化交流事業の企画運営など、柏キャンパスの国際化を支援する様々な活動を行っています。

■保健・健康推進本部柏地区(柏保健センター)

主に柏キャンパスの、学生・教職員の健康をサポートしています。定期健康診断、健康管理、健康教育・相談、内科・精神科診療、救護活動、健康診断証明書および健康診断書の発行を行っています。

■柏図書館

柏キャンパスの拠点図書館として学生・教職員へ学術情報の提供を行うほか、全学の協力のもと自然科学系雑誌のバックナンバーセンターとしての機能を果たしています。またイベント等を通じて地域社会との連携にも積極的に取り組んでいます。

■東京大学文書館

東京大学に関する歴史的資料を管理・活用し、大学の価値向上につなげるとともに、新たな学術基盤の構築を目指す組織です。



柏キャンパスの地域連携、产学連携、国際化活動

東京大学柏キャンパスでは、千葉県、柏市、流山市等と連携して、学術成果を地域社会に還元し、地域の活性化に貢献しています。またキャンパスの国際化と産業界への技術移転を積極的に進めています。以下でキャンパス横断的な活動を紹介します。

■一般公開

10月下旬の金曜日、土曜日に、柏キャンパスの研究室、大型実験施設などを学外者に公開しています。例年、約8,000人の来場者を迎えてます。

■柏図書館友の会

本学柏図書館の活動支援と会員相互および図書館職員との交流促進のための会員組織です。本会の目的に賛同される方なら、どなたでも入会できます。ただし、高校生以下の生徒・児童を除きます。会員は、開架図書の館外貸出を受けられます。また館内で行われる様々なイベントの案内が郵送されます。

■柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)

柏の葉地域において、公民学が連携したまちづくりを進めるため、東京大学、千葉大学、柏市、三井不動産、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会、首都圏新都市鉄道により構成された組織です。柏の葉キャンパス駅前に専用の施設をもち、大学からの研究成果やアイディアをもとに、社会実験やセミナーを開催しています。

■一般講演会

自治体、商工会議所等の協賛を得て、一般市民向けにノーベル賞受賞者等を招いた講演会を開催しています。



柏図書館



一般公開



一般公開



柏の葉アーバンデザインセンター

■大学コンソーシアム東葛への参加

柏市、我孫子市、流山市、野田市、松戸市の地方公共団体及び近隣の11大学が産官と連携し、大学の知的資源を生かしてまちづくりを推進する組織です。「国際化」、「手賀沼」、「学びと実践」の3つの分科会があります。本学は会員として参加しています。

■東葛テクノプラザとの連携

千葉県が設置する、県内企業のための研究開発支援施設です。本学は以下の事業に参加しています。

・大学等研究交流サロン

新技術・新製品の開発のため、大学等の研究者が企業や行政の方に講演やアドバイスを行う勉強会です。本学から講師を派遣しています。

・夏休み科学教室

子供の科学的視野の養成と、ものづくりの大切さ・楽しさを伝える教室です。本学から講師を派遣しています。

■東大柏ベンチャープラザとの連携

大学発ベンチャーの創出・育成と地域経済の活性化を目的に、中小企業基盤整備機構により設置された施設です。入居企業の多くが東大と連携しています。

■さわやかちば県民プラザとの連携

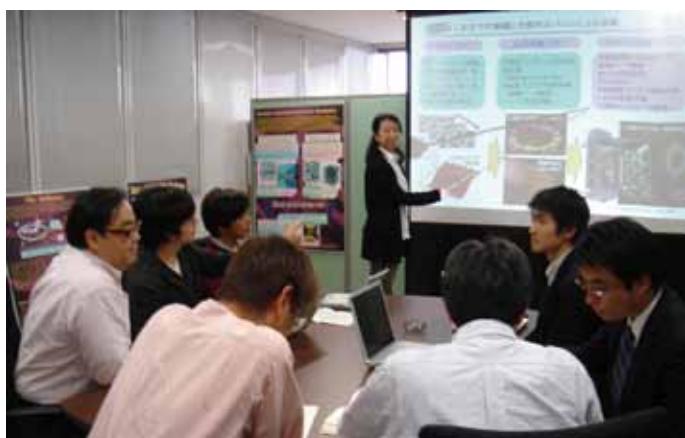
生涯学習と参加型芸術文化活動を行う施設です。本学からは、柏の葉アカデミア講座に講師を派遣し、先端科学技術や環境問題の講演、見学会を開催しています。

■日本原子力研究開発機構との連携

柏の葉駅前キャンパス内に日本原子力研究開発機構システム計算科学センターの研究員が常駐し、材料や構造、流体の複雑現象を対象とした高度計算科学の共同研究を進めています。また、スーパーコンピューティングとその応用分野における人材育成でも連携しています。

■国際交流活動

柏キャンパスは、東京大学の国際化拠点に位置づけられています。国際化教育支援室柏支部では、留学生や外国人研究者の来日手続きに関わる相談や生活情報提供、地域連携窓口などのサービスを提供しています。また、柏IIキャンパスには、留学生や外国人研究者のための宿泊施設として、インターナショナルロッジ柏ロッジが設置されています。世界各国の学生や研究者が、学住一体の中で学び、集う学際的国際村を目指したキャンパス作りを進めています。



日本原子力研究開発機構との計算科学連携



留学生・外国人研究者のための「生け花教室」

東京大学柏キャンパス案内図



柏キャンパスへの経路

● 柏の葉キャンパス駅西口(つくばエクスプレス線)より

<東武バス利用>

西柏03流山おおたかの森駅東口行(一部「東大西」止まり)→「東大前」、「東大西」下車

西柏04江戸川台駅東口行(国立がん研究センター経由)→「東大前」、「東大西」下車

西柏10江戸川台駅東口行(みどり台中央経由)→「東大前」、「東大西」、「東大西門前」下車

<徒歩> 約25分

● 柏駅西口(JR常磐線)より

<東武バス利用>

西柏01国立がん研究センター行(県民プラザ経由)→「東大西」、「東大前」下車

柏44国立がん研究センター行(税関研修所経由)→「国立がん研究センター」下車

● 江戸川台駅東口(東武アーバンパークライン)より

<東武バス利用>

西柏04柏の葉キャンパス駅西口行(国立がん研究センター経由)→「東大西」、「東大前」下車

西柏10柏の葉キャンパス駅西口行(みどり台中央経由)→「東大西門前」、「東大西」、「東大前」下車

● 常磐自動車道 柏IC 千葉方面出口から国道16号線へ500m先

「十余二工業団地入口」交差点を右

柏IIキャンパスへの経路

● 柏の葉キャンパス駅西口(つくばエクスプレス線)より

<東武バス利用>

西柏02柏駅西口行又は、西柏05高田車庫行→「柏の葉公園中央」、「柏の葉高校前」下車

<徒歩> 約15分

● 柏駅西口(JR常磐線)より

<東武バス利用>

西柏01国立がん研究センター行(柏の葉公園経由)→「柏の葉高校前」下車

西柏02柏の葉キャンパス駅西口行又は、柏44国立がん研究センター行(税関研修所経由)→「柏の葉高校前」、「柏の葉公園中央」下車

柏の葉駅前キャンパスへの経路

● 柏の葉キャンパス駅西口(つくばエクスプレス線)より徒歩1分

